



加熱式加湿器 保証書

持込修理

本書は、お買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合に、下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には無料修理をさせていただきます。  
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参・ご提示いただき、お申し付けください。  
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、ご相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間中でも次の場合には原則として、有料とさせていただきます。  
(イ)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。  
(ロ)お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障および損傷。  
(ハ)お買い上げ後の地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、煙害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。  
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。  
(ホ)一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。  
(ヘ)本書のご提示のない場合。  
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
- 本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料期間修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にお問い合わせください。  
※譲渡・転売・中古販売・オークション・個人売買・リサイクル店などによる販売品については、弊社の責任の範囲ではありません。  
※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。  
※修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料及びその他の費用はお客様のご負担となります。  
※保証の範囲は、修理・交換を限度とします。また、故障その他による逸失利益、その他製品使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。  
※出張修理を依頼され、本体に原因がないと判断した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。(出張修理対象製品のみ)

ご販売店様へ：必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

品番	SKJ-GF26SK		
保証期間	対象部分	期間(お買い上げ日より)	保証の条件
	本体	1年	持込修理
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前	様	
	ご住所 電話		
販売店	販売店名	印	
	ご住所 電話		

※個人情報の取扱いについて  
弊社は、お客様の個人情報の保護に関する法律を遵守し、お客さまの個人情報の保護に努めます。  
お客様の個人情報は、弊社製品の保証・アフターサービスのために利用し、他の目的には利用いたしません。  
お客様の同意なしに第三者への開示・提供を行うことはありません。  
弊社は、お客様の個人情報が適切に管理されるよう、業務委託先に対して指示・監督を行うなど十分な注意を払います。

エスケイジャパン株式会社

【ご相談窓口】〒818-0063 福岡県筑紫野市桜台 2-23-2  
TEL.092-921-4210 Eメール: skjsupport@qtk.co.jp  
電話受付時間 午前10時～午後1時、午後2時～午後5時(土・日・祝日を除く)

加熱式加湿器  
取扱説明書



品番

SKJ-GF26SK

保証書付(裏表紙)

このたびは、加熱式加湿器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不都合が生じたときにお役立てください。

加熱式

最大加湿量  
300ml/h

タンク容量  
2.8ℓ



もくじ

- まず、付属品の確認を..... 1
- 安全上のご注意..... 1~4
- ご使用になる場所について..... 5
- 各部のなまえ..... 6
- 使いかた..... 7~8
- お手入れと保管について..... 9
- 修理サービスを依頼する前に..... 10
- 修理サービスについて..... 10
- 保証書..... 裏表紙

製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY.

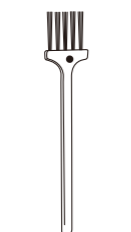
上手に使って 上手に節電

# まず、付属品のご確認を!

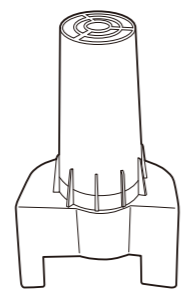
## 付属品



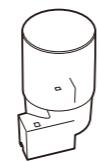
取扱説明書 (本書)  
(保証書付)



清掃ブラシ



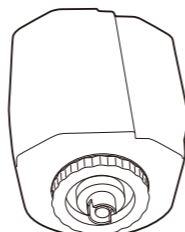
スチームパイプ



フィルター  
カバー



フィルター



水タンク

付属品が割れたり、紛失した場合はお買い上げの販売店までお申し付けください。(有料)

## 安全上のご注意

必ずお守りください

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この加熱式加湿器は、乾燥した室内環境を加湿して快適な環境にするためのもので、これ以外でのご使用は、絶対にしないでください。

この用途及び一般家庭用以外(業務用など)でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不都合については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 表示について

※ここに表示している『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。『警告』『注意』の2つに大別し、お知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告**

取扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示しています。



**注意**

取扱いを誤ると障害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示しています。

## 表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記はその一例です)



△記号は、『警告や注意を促す』内容のものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)を示しています。



⊘記号は、してはいけない『禁止』内容のものです。  
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。



●記号は、必ず実行していただく『強制』内容のものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜く)を示しています。

※お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られる所に、保管してください。

## 修理サービスを依頼する前に

●異常が生じたときは、下記内容をご確認ください。確認後も症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	お確かめください
通電・作動しない	●差し込みプラグをコンセントと差し込み口にしっかりと差し込んでいますか。
蒸気が出ない	●タンク内に水が入っていますか? ●本体を柔らかいカーペットの上などに設置していませんか? ●吸気口がふさがれたり、ホコリがたまっていますか? ●蒸発皿の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか? ●運転開始した直後ではありませんか? ●吹き出し口がふさがれていませんか?
においがする	●本体内部が汚れていませんか? ●長い間水を入れっぱなしにしたりしていませんか?

## 修理サービスについて

よくお読みください

### (1)保証書

●この説明書の裏表紙に保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で『販売店・お買い上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

### (2)修理を依頼される時

●保証期間中でも  
保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。  
●保証期間を過ぎているときは  
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

### (3)補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するため必要な部品)の最低保有期間は、製造終了後6年です。

### (4)ご使用中ふだんと変わった状態になったときは

ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

●お客様ご自身の分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。



分解禁止

### (5)設計上の標準使用期間について

本製品の設計上の標準使用期間は4年です。  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

### (6)修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。

## 仕様



種類	加熱式加湿器			
品番	SKJ-GF26SK			
タンク容量	約2.8ℓ	重量	約1.3kg	
外形寸法	幅	約242mm	コードの長さ	約1.2m
	奥行	約165mm	定格電圧	AC100V
	高さ	約320mm	定格周波数	50Hz/60Hz共用
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット		定格消費電力	250W
電気代	1時間当り 約6.8円		加湿能力	約300ml/h
			連続加湿時間	約9時間(タンク満水時)

※製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

愛情点検	長年ご使用の加熱式加湿器の点検を!	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コード、プラグが異常に熱い。</li> <li>●電源コードに深いキズや変形がある。</li> <li>●焦げくさいにおいがする。</li> <li>●運転中に異常な音や振動がする。</li> <li>●本体に触れるとビリビリ電気を感ずる。</li> <li>●その他異常や故障がある。</li> </ul>
		<p>以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

## お手入れと保管について

### お手入れについて

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際は必ず差込みプラグを抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。不意に作動してケガや感電の原因になります。</li> <li>●お手入れの際は、本体を水につけたり、水をかけないでください。感電やショート・故障のおそれがあります。</li> <li>●長い時間で使用になると、差込みプラグとコンセントの間にほこりや水分が付着し、発火（トラッキング現象）するおそれがあります。差込みプラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。</li> </ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の汚れは、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤を布に含ませ拭きとっていただくと、汚れが取れやすくなります。また、中性洗剤を使用した場合は、水を含ませた布で完全に拭き取った後、さらに乾いた布で拭いてください。</li> <li>●シンナー、ベンジン、アルコール、灯油、ベンゾール、みがき粉、アルカリ性洗剤、たわしなどは塗装面や樹脂部が変色、変質するおそれがあるため使用しないでください。</li> <li>●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままの場合、変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。</li> <li>●蒸発皿の表面を傷つけないでください。変形したり傷がつくと加湿量が弱くなったり、故障の原因になります。</li> </ul>

！電源コード・差込みプラグは、ときどき点検してください。

症状	原因・対策
電源コードの被ふくが傷んでいる。	電源コードまたは、差込みプラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。
使用中、差込みプラグや電源コードの一部が熱い。	直ちに差込みプラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする。	

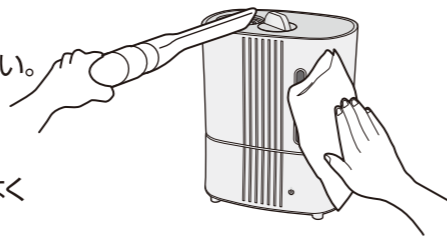
長期間（5年程度）経過したものは、安全のため、販売店に点検を依頼してください。（有料）

#### ●フィルターのお手入れ

※フィルターは蒸発中の水あかや不純物を付着させるものです。フィルターを乾燥させてから軽く揉みほぐし、不純物を落としてください。

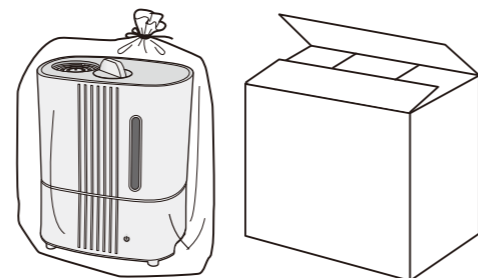
#### ●蒸発皿のお手入れ

水で濡らした柔らかい布で拭いてください。  
※蒸発中に水あか、不純物が付着したまま使用すると、加湿量が少なくなったり、故障の原因となります。



### 保管のしかた

●本体・水タンクの水を捨て、柔らかい布で汚れ・水分をよく拭き取り、完全に乾燥させてから袋に入れ、包装ケースまたはお手持ちの箱に入れて、湿気のないところに保管ください。



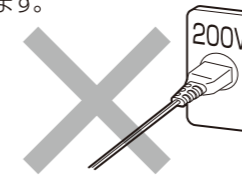
## 警告

交流100V以外では使用しない。

●火災・感電の原因になります。



禁止



電源コードを傷つけたり、束ねたり、引っ張ったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。



禁止

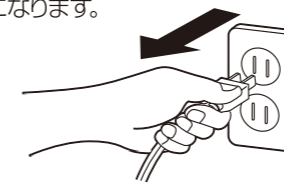
●電源コードが破損する原因になります。  
●傷んだまま使用すると感電や火災の原因になります。

お手入れの際や、長時間で使用にならないときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜いておく。

●火災や感電の原因になります。



プラグを抜く



差込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずにプラグを持って引き抜く。

●感電やショートして発火することがあります。



強制

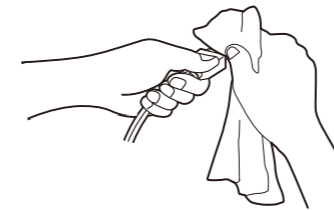


差込みプラグのホコリなどは定期的にとる。

●ホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、感電や発熱・発火（トラッキング現象）による火災の原因になります。



強制

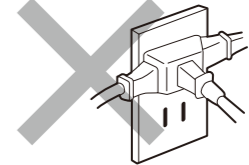


定格15A以上のコンセントを単独で使う。また、コードはたこ足配線や延長コードを使用しない。

●火災の原因になります。



禁止



差込みプラグは根元まで確実に差し込む。

●差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因になります。



強制



ぬれた手で差込みプラグやスイッチなどをさわらない。

●感電の原因になります。



濡れ手操作禁止

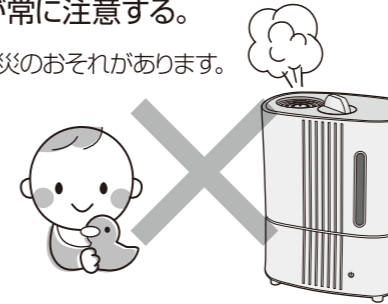


乳幼児やお子さま、お年寄り、身体の不自由な方、病気の方などにお使いになる場合は、周囲の方が常に注意する。

●やけどや火災のおそれがあります。



強制

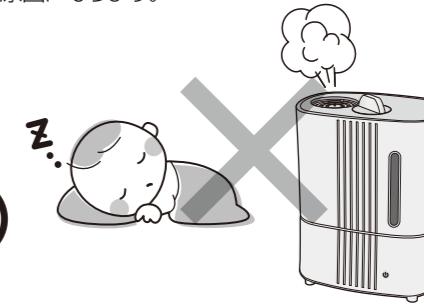


就寝中は使用しない。

●火災の原因になります。



禁止



## 警告

吹出し口やすき間にピンや針金等の金属物、異物を入れない。

- 感電や故障・火災・異常音の原因になります。



異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して差込みプラグを抜き、お買上げの販売店または、ご相談窓口にご相談ください。

- 異常のまま運転を続けると故障や火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

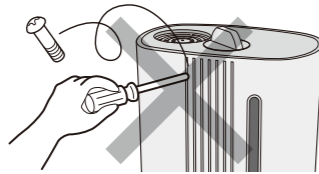


改造は絶対しない。また、修理技術者以外の方が分解したり修理しない。

- 火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

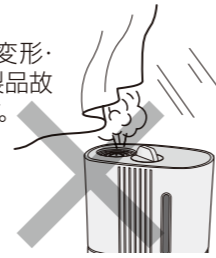


家具・壁・カーテン・電気製品・パソコンなどの精密電気機器に直接に霧がかかるところで使用しない。

- シミや白粉がついたり、故障・変形・変色の原因になります。電気製品故障・漏電・感電の原因になります。



禁止



幼児の手の届くところで使用しない。子どもだけでは使わせない。

- 事故や健康被害の原因になります。



禁止

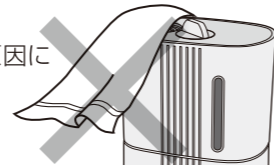


吹出し口をふさがない。また、布やカバーをかけて使用しない。

- 故障の原因になります。



禁止

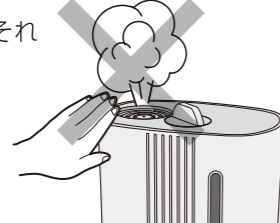


使用中・使用直後の吹出し口周辺にさわらない。

- やけどをするおそれがあります。



禁止



コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。また電源コード・差込みプラグが傷んだときは使用しない。

- 感電やショート・発火の原因になります。



禁止

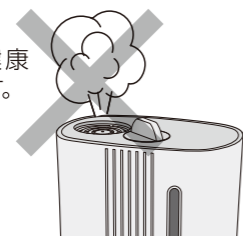


吹出し口から噴出される霧は直接吸い込まない。

- やけどをするおそれや健康を害するおそれがあります。



禁止



水タンクのお手入れには酸素系、酸性タイプの洗剤は使わない。

- 水タンクの変質・変形や健康を害するおそれがあります。



禁止



## 運転のしかた

【注】必ず水タンクに水を入れてから、本体にセットしてください。

■本体を平らで安定した場所に設置します。(5ページ [設置場所についての注意事項] 参照)

1 差込みプラグをコンセントに確実に差し込みます。



2 電源ボタンを押して電源を入れます。



- 電源ボタンが緑色に点灯し、約3~7分後に加湿が始まります。 ※水タンクの水が無くなると、電源ボタンが赤く点滅後消灯します。水タンクを取り外して、水を入れてください。

3 使用後は、電源ボタンを押して電源を切り、コンセントから差込みプラグを抜きます。

※電源を切っても余熱により噴霧が続く場合があります。

### 注意

蒸気・スチーム吹出し口は高温になります。やけどをするおそれがありますので、運転中・運転直後に手を触れないでください。

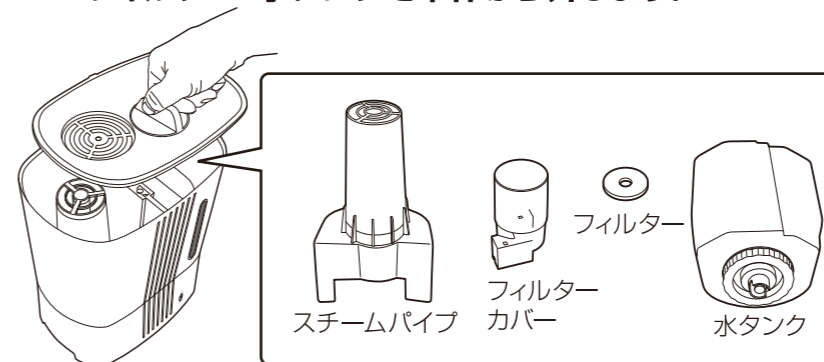
## 本体内部の排水のしかた

- 使用するに従い、水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が本体内部に付着していきます。毎日は本体内部に残った水をすべて排水し、毎日お手入れすることをおすすめします。

1 必ず電源を切り、差込みプラグをコンセントから抜きます。



2 上ぶた・スチームパイプ・フィルターカバー・フィルター・水タンクを本体から外します。

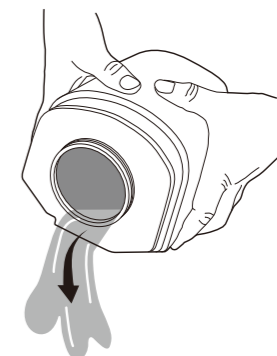


### 注意

動作終了後は高温となっております、本体が冷めてから行ってください。

3 タンクキャップを反時計回りに回して取り外します。

4 排水方向を確認し、電源コードや操作部に水がかからないように注意しながら本体内部と水タンクの水を排水します。(右図)



使いかた

ご使用前の準備・水タンクに水を入れる

注意とおねがい



必ず守る

◎水道水ご使用について。

カルキやミネラル成分が含まれており、空気中で白粉化し、白い粉状のものが付着する場合があります。

◎お湯などの温度の高い水を入れないでください。

◎水以外のもの(浄水器の水やペットボトル飲料など)や、水にアロマオイルなどを入れての使用も絶対にしないでください。

破損・誤作動・故障の原因になります。

◎小さなお子様やペットにご注意ください。

小さなお子様やペットのいるご家庭では、お子様やペットが誤って本製品を転倒させないように十分ご注意ください。

1 本体のフタのつまみをOPENの位置まで回して、フタを持ち上げます。

2 本体から水タンクを取り外します。

3 タンクキャップを反時計回りに回して外し、水道水を入れます。

※満水で約2.8リットル入ります。

- 水以外の液体を入れないでください。
- 40℃以上の温水、洗剤、芳香剤、アロマオイル、化学薬品などは絶対に入れないでください。
- 水タンクの水は毎日交換してください。



注意

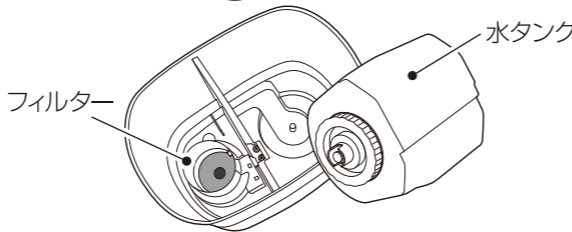
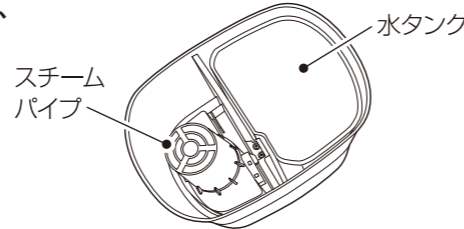
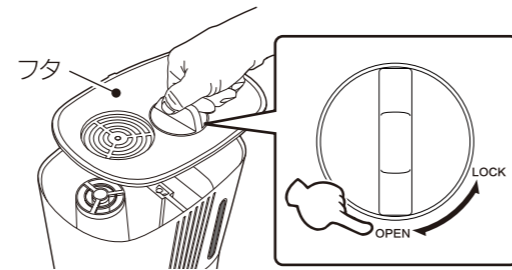
水タンク内には水以外の液体やアロマオイルを入れない  
●破損・誤作動・故障の原因になります。

4 タンクキャップを時計回りに回してしっかり取り付けます。

5 スチームパイプ、フィルターカバー、フィルターがセットされていることを確認します。

6 水タンクを本体に取り付けます。

7 本体のフタのつまみをLOCKの位置まで回して、フタを固定します。



注意

移動するときは、運転を止め、水タンク・本体の水をすべて捨てる。

- 本体内の水がこぼれて故障や感電の原因になります。



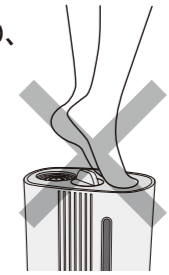
強制

本体の上にものをのせたり、乗ったりしない。

- 破損したり感電や故障・ケガの原因になります。



禁止

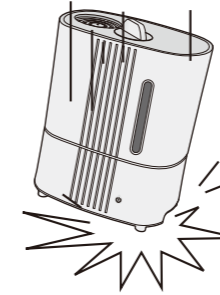


本体を落下させたり、強い衝撃をあたえない。

- 水漏れの原因になります。
- 感電や故障・火災の原因になります。



禁止

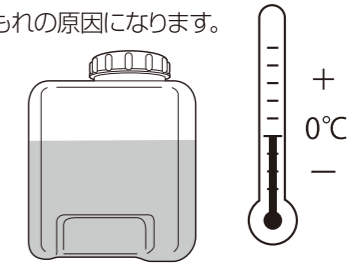


ご使用の場所より、極端に温度が低い水を入れない。

- 温度差による水もれの原因になります。



禁止



凍結に注意する。

- 凍結のおそれがあるときは、タンクと本体の水を捨ててください。故障の原因になります。



強制



不安定な所では使用しない。

- 傾斜や転倒して水もれが起きることがあります。



禁止

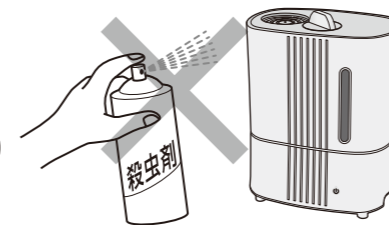


殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーでふいたりしない。(整髪料、掃除用など)

- 感電やショート・発火の原因になります。



禁止

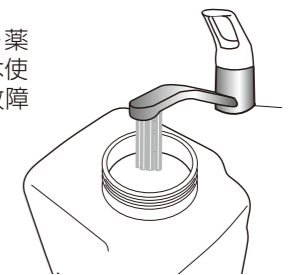


水タンクの水は、毎日新しい水道水に入れ替える。

- 40℃以上の湯や塩分・薬品・洗剤など入った水は使用しないでください。故障の原因になります。



強制

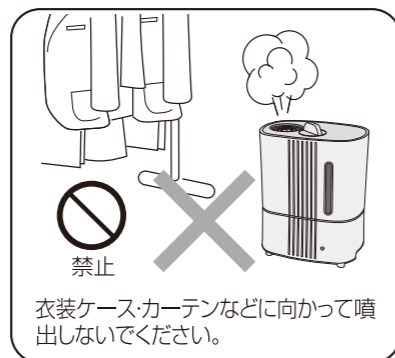
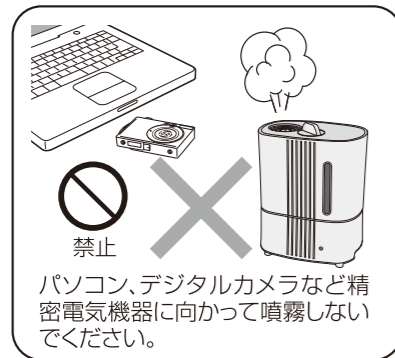


プラグを抜く

移動の際は電源スイッチを「切」にしてから、タンクの水をすべて捨て移動してください。外出の際は、安全のため(犬・猫などペットのいたずら・雷などによる異常発火を防止)、必ず差込みプラグをコンセントから抜いてください。

## ご使用になる場所について

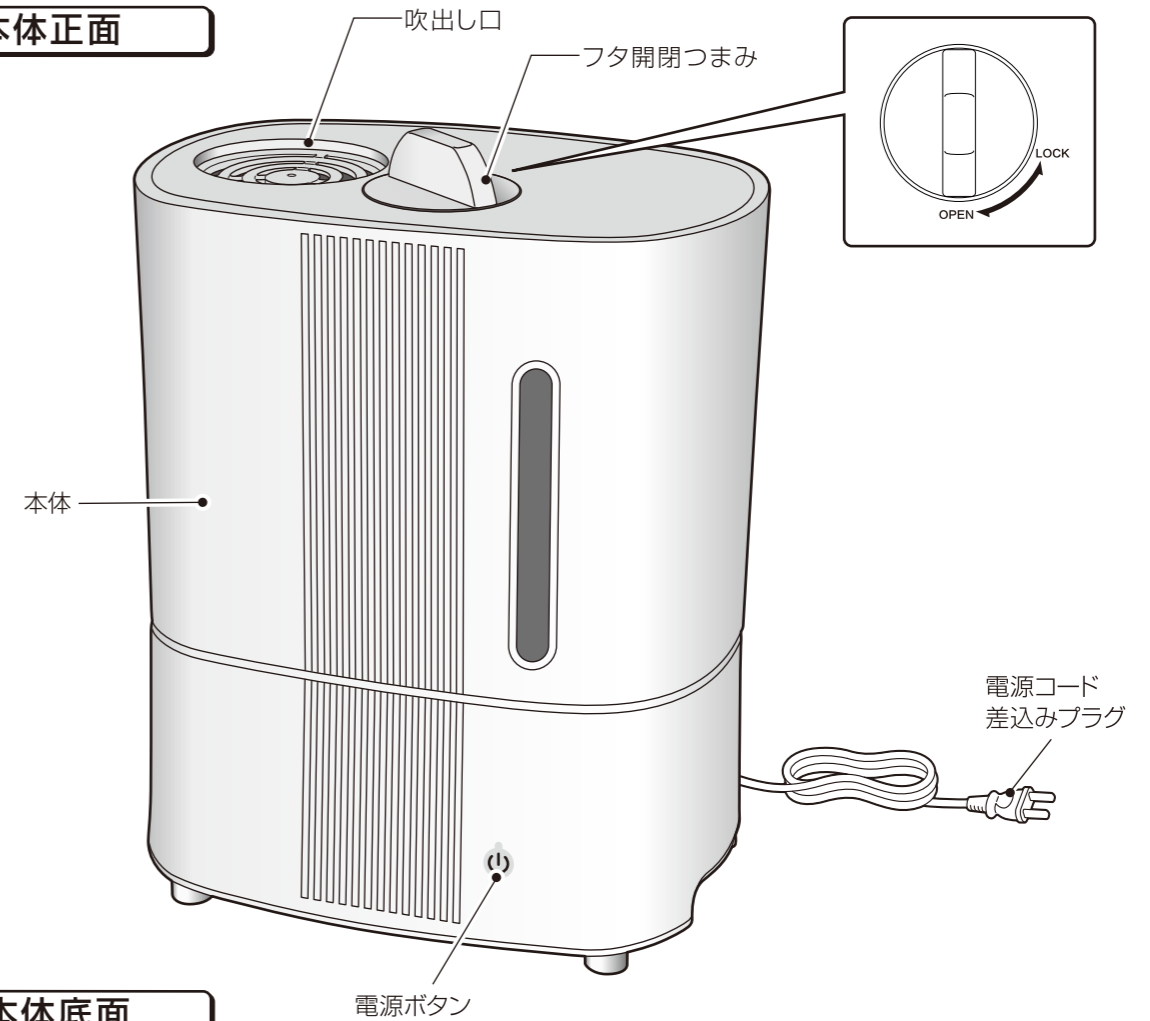
- ⚠ **警告** ● 壁、家具、カーテンなどから離し、電気製品・カメラなど精密機器のない場所でご使用ください。  
(下図参照)
- ⚠ **注意** ● 不安定な場所に設置しないでください。(転倒したり、水漏れの原因になります。)
  - 本体が傾いたり、浮いたりするような毛足の長いカーペットなどの、柔らかいものの上などでは使用しないでください。
  - 必ず平らな場所に設置してください。
- ⚠ **警告** ● 変形・変色の原因になります。



## 各部のなまえ

※イラストは、製品と少し異なることがあります。

### 本体正面



### 本体底面

